

保健体育

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい保健体育
4	大 日 本	中学校保健体育
50	大 修 館	保健体育
224	学 研	中学保健体育

2 教科書の調査研究における観点、視点及び方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	単元の流れの示し方, 1時間ごとの課題提示と学習内容の示し方
		② 健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫	健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫と具体例
		③ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫及び具体例
(イ)	学習方法の工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高める工夫と読み物の数及び具体例
		⑤ 体験的な学習を実施するための工夫	実習や調査を実施するための資料の数と具体例
		⑥ 実生活・実社会に関連付けるための工夫	実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例, 実生活を振り返るチェック項目数
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・題材や資料等の配列	各単元における項目の構成
		⑧ 発展的な学習に関する内容の記述の工夫	発展的な学習の扱いと記載数及び記載単元
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	イラスト・写真等の示し方, キャラクターやマークの活用
(オ)	言語活動の充実	⑩ 自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫	知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫と具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	単元の流れの示し方, 1時間ごとの課題提示と学習内容の示し方

	単元の流れの示し方	1時間ごとの課題提示と学習内容の示し方
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉に各単元内容の目次や主な学習内容及び課題について記載している。 ○ 章扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今日の学習」で「～について学習しましょう。」等の形態で, 学習の課題や内容を提示している。 ○ 「やってみよう」から, 本文・資料, 「考えてみよう」までを1時間の学習の流れとし, 内容によって「生かそう」を配置している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉に単元の学習内容の流れや課題について記載している。 ○ 章扉に各内容に係る疑問点や学習のポイントを示し, 本単元の全体的な流れを図で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今日の学習課題」で「どのように～すればよいのでしょうか。」等の形態で, 学習の課題や内容を提示している。内容によって複数の課題が提示されている。 ○ 「考えよう」から, 本文・資料, 「学習を活かして」までを1時間の学習の流れとして示している。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉に本単元で学習する項目を示している。 ○ 章扉に各内容に係る疑問点や学習のポイントを示し, 本単元の全体的な構成を図で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の前に「知っていますか。」や「～なんですか。」等の形態で, 学習の課題や内容を提示している。 ○ 学習課題の提示から, 本文・資料, 「やってみよう！」までを1時間の学習の流れとして示している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉で, 本単元に係る現状やその必要性, 学習内容をまとめ, 文章で記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題をつかむ」で「どのように～すればよいのでしょうか。」等の形態で, 学習の課題を提示している。内容によって複数の課題が提示されている。 ○ 「学習をつかむ」から, 本文・資料, 後半でキャラクターが活用のための課題や実習等を設定するまでを1時間の学習の流れとして示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫
方法	健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫と具体例

	科学的な理解を図るための工夫	「心身の機能の発達と心の健康」における具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ポイント」マークを入れ、資料を読み取る観点を示している。 ○ キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ポイント」マーク <ul style="list-style-type: none"> ・グラフの傾きが大きいところに注目しよう。 ○ キャラクター <ul style="list-style-type: none"> ・身長が急に伸びるときには、どの器官が発育するのか。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」で、資料の見るポイントを示している。 ○ 「トピックス」の中で、学習内容に関連した資料を示し、視点を変えた疑問や解説をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・資料1や資料2のグラフから、どのようなことがわかりますか。 ○ 「トピックス」 <ul style="list-style-type: none"> ・「身長と体重の関係」では、「1年間の体重の発育量」の資料を示し解説している。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「コラム」の中で、学習内容に関連した資料を示し、理解を助ける内容が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「コラム」 <ul style="list-style-type: none"> ・「人の体は、ゆっくり大人になる」では、「人間とほかの動物の成長期間の比較」の資料を示し解説している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターが、習得した知識から資料等を活用して、考えさせるための内容を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクター <ul style="list-style-type: none"> ・上の図の場合、月経の起こる何日前になるのでしょうか。 ・学習したことを参考にして考えてみましょう。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
方法	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫及び具体例

	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫	「健康と環境」における具体例
東書	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各時間の学習内容のページ内に示し、巻末で解説している。	○ 「キーワード」：環境への適応能力 ・ 適応→暑さや寒さなど、外界の環境が変化したときにも、体内の環境を一定にするはたらき。
	○ 各章末に知識の習得を確認する「確認問題」を設けている。 また、「学習を振り返ろう」では、知識の定着状況について自己評価できる。	○ 「学習を振り返ろう」(チェックシート) ・ 以下のことが理解できましたか。「わたしたちのからだの適応能力とは、どのようなものか。」等の問いに対してA, B, Cで自己評価する。
大日本	○ 習得すべき基本用語を本文中で強調表記とし、章末の「学習のまとめ」で「重要な言葉」として解説している。	○ 「重要な言葉」：環境への適応能力 ・ 適応(P.72) 体の調節機能をはたらかせて周りの環境の変化に体の状態を対応させること。
	○ 各章末の「学習のまとめ」で「学習の要点」を、簡潔な短文によって提示している。	○ 「学習の要点」 ・ わたしたちの体には、環境の変化に対応して体の調節機能をはたらかせ、一定の範囲内でその変化に対応する能力(適応能力)があります。
大修館	○ 習得すべき基本用語を本文中で強調表記とし、各時間の学習内容のページ内のサイドに解説している。	○ 基本用語：環境への変化への体の適応 ・ 熱中症(本文)→暑さや高い湿度のため、体温調節機能がうまく働かなくなる症状の総称。(サイド解説)
	○ 各章末の「学んだことを振り返ってみよう」で、基礎的な知識について説明をさせ、「この課題に取り組んでみよう」で、活用のための課題が示されている。	○ 「学んだことを振り返ってみよう」 ・ 暑さや寒さに対して体はどのようなしくみで適応するのか、説明してみよう。 ○ 「この課題に取り組んでみよう」 ・ 新聞で熱中症による死亡事故について調べ、どこに問題があったのか、どうすれば防げたのかを考えてみよう。
学研	○ 習得すべき基本用語を本文中で強調表記とし、各時間の学習内容のページ内のサイドに解説し、章末で「用語の確認」を設け確認している。	○ 基本用語：環境の変化と適応能力 ・ 熱中症②(本文)→熱中症の予防については p.48, 手当てについては, p.69 を参照。(サイド解説) ○ 「用語の確認」 ・ <input type="checkbox"/> 適応 <input type="checkbox"/> 適応能力 <input type="checkbox"/> 至適温度 など各用語をチェックして確認する。
	○ 章末の「学習の確認」の「知識の活用」で、基本的な知識の習得について、自己評価で確認ができるようチェック項目が示されている。	○ 「知識の活用」 ・ 部屋の温度や明るさ、空気を適切に保つための方法を幾つか挙げられる。[<input type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 大体 <input type="checkbox"/> もう少し]にチェックして確認する。

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	興味・関心を高める工夫と読み物の数及び具体例

	興味・関心を高める工夫	内 容	読み物	「心身の機能の発達と心の健康」における具体例
東書	○ 学習内容に関連した内容の「読み物」を掲載している。	体育	4	○ 「読み物」 ・骨の基礎は思春期につくられる ・ホルモンのはたらき ・ほんとうに親密であること
		心身	3	
		環境	1	
		傷害	3	
		生活	4	
大日本	○ 「トピックス」として、学習内容に関連した内容の話題や読み物を掲載している。	体育	9	○ 「トピックス」 ・身長と体重の関係 ・ホルモンの作用 ・男女の理解と尊重 ・強い意志をもって
		心身	4	
		環境	5	
		傷害	3	
		生活	11	
大修館	○ 「コラム・事例」として、学習内容に関連した話題や実際の例を掲載している。	体育	10	○ 「コラム・事例」 ・人の体は、ゆっくり大人になる ・持久力を高めるための運動のしかた ・思春期は月経周期が不安定なことがある ・思春期には他人との違いが気になる ・命のリレー ・【事例】 インターネットサイトにアクセスし、事件の被害にあった ・逆境での自己形成－野口英世
		心身	7	
		環境	3	
		傷害	6	
		生活	7	
学研	○ 「コラム」として、学習内容に関連した今日的な話題を掲載している。	体育	8	○ 「コラム」 ・インターネットの危険性 ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳 ・「わがまま」と「素直」 ・へその緒を流れる血液は誰の血液？
		心身	4	
		環境	6	
		傷害	7	
		生活	8	

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑤体験的な学習を実施するための工夫
方法	実習や調査を実施するための資料の数と具体例

	単 元 名	資料の数		「傷害の防止」における具体例
		実習	調査	
東 書	心身の機能の発達と心の健康	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生の方法 ・A E D ・直接圧迫止血法 ・包帯法 ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口等調べ ・交通環境調べ ・地震対策（家具や備品）調べ
	健康と環境	0	0	
	傷害の防止	4	3	
	健康な生活と疾病の予防	0	4	
	体育編	0	6	
大 日 本	心身の機能の発達と心の健康	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・反応の確認から心肺蘇生のしかた ・直接圧迫止血法 ・間接圧迫止血法 ・巻軸帯・伸縮包帯の巻き方 ・いろいろな包帯の使い方 ・大判のハンカチやスカーフ、ふろしきの活用 ・外傷の応急手当 ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に備える
	健康と環境	0	3	
	傷害の防止	7	1	
	健康な生活と疾病の予防	0	4	
	体育編	0	1	
大 修 館	心身の機能の発達と心の健康	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・救急車への通報の練習 ・出血を止める練習 ・包帯を巻く練習 ・患部を固定する練習 ・気道を確保する練習 ・呼吸を確認する練習 ・人工呼吸の練習 ・胸骨圧迫の練習 ・A E Dの練習 ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な交通環境調べ
	健康と環境	0	3	
	傷害の防止	9	1	
	健康な生活と疾病の予防	0	5	
	体育編	0	2	
学 研	心身の機能の発達と心の健康	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・傷病者に意識がない場合の手当の練習 ・A E D ・直接圧迫止血法の練習 ・包帯法の練習 ・固定の仕方の練習 ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害の防止 ・自然災害への備え
	健康と環境	0	5	
	傷害の防止	5	2	
	健康な生活と疾病の予防	0	4	
	体育編	0	7	

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑥実生活・実社会に関連付けるための工夫
方法	実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例，実生活を振り返るチェック項目数

	学習活動の示し方	「喫煙・飲酒・薬物乱用」における具体例	実生活を振り返るチェック項目数
東書	○ 各時間の最後の「考えてみよう」，「生かそう」や「章末資料」で，学習したことを実生活に生かしたり，調べたりする課題や資料を掲載している。	○ 「考えてみよう」：喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処 ・ロールプレイング 「次のような言葉で飲酒や薬物乱用を勧められた場合，どのように対処したらよいでしょうか。」 ○ 「章末資料」 ・未成年者の喫煙や飲酒，薬物乱用を防ぐ社会的な取り組み	4
大日本	○ 各時間の最後の「学習を活かして」で，実生活で活用するための具体的な課題等が示されている。	○ ロールプレイング：喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ ・「友達からたばこをすすめられた。」 ・「親戚のおじさんから酒をすすめられた。」 ・「先輩から薬物をすすめられた。」 ○ 「学習を活かして」 ・はっきりと「やらない」，「ノー」と言える自信ができましたか。誘いを断る言葉を考えたり，声に出したりして，自分の身を守る力をつけておきましょう。	4
大修館	○ 各時間の最後の「やってみよう！」「活用」で，調べる，発表するなどの作業課題や実際の場面に当てはめて考える課題を設定している。	○ 「やってみよう！」：喫煙・飲酒・薬物乱用の要因 ・「喫煙・飲酒・薬物乱用防止のために身のまわりでどのような対策が実行されているか，また，さらに何が必要なのかを話しあってみよう。」 ○ ロールプレイング：「こんなとき，どうする？」 ・先輩から飲酒をすすめられたとき。 ○ 「広告を分析してみよう」 ・たばこのポスターを分析する。	1
学研	○ キャラクターを利用して，習得した知識を活用する課題を設けている。また，各章末に「探究」として，課題と調べ方を例示している。	○ キャラクターによる課題：喫煙と健康 ・喫煙のする大人が，「たばこを吸うと頭がすっきりする」，「いつでもやめられる」と言うのに対して，どのように反論できるか，考えてみましょう。 ○ 事例：喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ ・事例からキャラクターが「A子はなぜ覚醒剤に手を出してしまったのか，考えてみましょう。」と課題を提示している。	5

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元・題材や資料等の配列
方法	各単元における項目の構成

	心身の機能の発達と心の健康	健康と環境	傷害の防止	健康な生活と疾病の予防
東書	1 からだの発育・発達 2 呼吸器・循環器の発育・発達 3 生殖機能の成熟 4 異性の尊重と性情報への対処 5 知的機能と情意機能の発達 6 社会性の発達と自己形成 7 心とからだのかかわり 8 欲求の発達 9 ストレスと心の発達 10 ストレスの対処と心の健康	1 環境への適応能力 2 活動に適する環境 3 飲料水の衛生的管理 4 室内の空気の衛生的管理 5 生活に伴う廃棄物の衛生的管理 6 環境保全とわたしたちの生活	1 傷害の発生原因 2 交通事故の発生要因 3 交通事故の危険予測と回避 4 犯罪被害の防止 5 自然災害の一次災害と二次災害 6 自然災害による傷害の防止 7 応急手当の意義と方法	1 健康の成り立ちと病気の発生要因 2 食生活と健康 3 運動と健康 4 休養・睡眠と健康 5 生活習慣病の予防 6 喫煙の害と健康 7 飲酒の害と健康 8 薬物乱用の害と健康 9 薬物乱用の社会への影響 10 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処 11 感染症と病原体 12 感染症の予防 13 性感染症の予防 14 エイズの予防 15 保健・医療機関の利用 16 医療品の利用 17 個人の健康を守る社会の取り組み
大日本	1 体の発育・発達 2 呼吸器官・循環器官の発育・発達 3 生命を生み出す体への成熟 4 思春期の心の変化への対応 5 考える心・感動する心の発達 6 人とのかかわりと自分らしさ 7 欲求への対処 8 ストレスへの対処 9 心身の調和と心の健康	1 環境への適応能力 2 快適な気温・湿度・気流と明るさ 3 空気の衛生的管理 4 飲料水の衛生的管理 5 生活にともなう廃棄物の衛生的管理 6 環境汚染と健康	1 傷害の発生とその発生要因 2 交通事故などによる傷害の防止 3 自然災害による傷害の防止 4 傷害が発生したときの応急手当 5 反応がないときの応急手当 6 出血があるときの応急手当 7 外傷の応急手当	1 健康の成り立ち 2 食生活と健康 3 運動と健康 4 休養・睡眠と健康 5 生活のしかたと生活習慣病 6 生活習慣病の予防 7 喫煙と健康 8 飲酒と健康 9 薬物乱用と健康 10 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ 11 感染症の原因 12 感染症の予防 13 性感染症とその予防 14 エイズとその予防 15 保健・医療機関や医薬品の有効利用 16 個人の健康を守る社会の取り組み

	心身の機能の発達 と心の健康	健康と環境	傷害の防止	健康な生活と 疾病の予防
大修館	1 体の発育 2 呼吸・循環の働きの発達 3 生殖の働きの発達 4 性への関心と行動 5 心の発達 6 自己形成 7 欲求と欲求不満 8 心と体のかかわりとストレス 9 ストレスの対処と心の健康	1 環境の変化への体の適応 2 快適で能率のよい環境 3 安全な飲料水の供給 4 空気の汚染と換気 5 し尿とごみの処理	1 傷害の原因と防止 2 交通事故による傷害の防止 3 自然災害への備えと避難 4 応急手当の基本 5 けがの応急手当 6 心肺蘇生法	1 健康を左右するもの 2 食事と健康 3 運動と健康 4 休養・睡眠と健康 5 生活習慣病とその予防 6 喫煙と健康 7 飲酒と健康 8 薬物乱用と健康 9 喫煙、飲酒、薬物乱用の要因 10 感染症の原因 11 感染症の予防 12 性感染症・エイズの予防 13 保健・医療機関とその利用 14 医薬品の正しい使い方 15 個人の健康を守る社会の取り組み
学研	1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発達 3 性機能の成熟 4 性とどう向き合うか 5 心の発達(1)－知的機能と情意機能の発達－ 6 心の発達(2)－社会性の発達－ 7 自己形成 8 欲求不満やストレスへの対処	1 環境の変化と適応能力 2 快適な環境の条件 3 室内の空気の条件 4 水の利用と確保 5 し尿・生活排水の処理 6 ごみの処理 7 環境の汚染と保全	1 傷害の原因と防止 2 交通事故の現状と原因 3 交通事故の防止 4 自然災害に備えて 5 応急手当の意義と基本 6 きずの手当	1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食生活と健康 4 休養・睡眠と健康 5 生活習慣病とその予防 6 喫煙と健康 7 飲酒と健康 8 薬物乱用と健康 9 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ 10 感染症とその予防 11 性感染症とその予防／エイズ 12 保健・医療機関と医薬品の有効利用 13 共に健康に生きる社会

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫
方法	発展的な学習の扱いと記載数及び記載単元

	発展的な学習の扱い	記載数	記載単元（記載数）
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されていないが、本編と関連させ、発展的な内容の資料を掲載している。 ○ 主に章末に発展的な資料を掲載している。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身の発達と心の健康（1） ○ 健康と環境（2） ○ 傷害の防止（2） ○ 健康な生活と病気の予防（2） ○ 体育編（1）
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習するように決められたこと以外で、本編と関連させ、さらに学習を深める課題や資料を掲載している。 ○ 編末に問いかけの形態で課題や資料を掲載している。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身の発達と心の健康（1） ○ 健康と環境（3） ○ 傷害の防止（1） ○ 健康な生活と病気の予防（3） ○ 体育編（7）
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習する内容ではないが、もっと知りたい人のために、本編と関連させた内容を掲載している。 ○ 主に実習の発展的な内容として資料等を掲載している。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身の発達と心の健康（1） ○ 健康と環境（2） ○ 傷害の防止（5） ○ 健康な生活と病気の予防（3） ○ 体育編（4）
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習することと決められていないが、本編と関連させた発展的な課題や資料を掲載している。 ○ 単元末に探究課題例と並べて発展の内容を掲載している。 	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身の発達と心の健康（1） ○ 健康と環境（3） ○ 傷害の防止（2） ○ 健康な生活と病気の予防（2） ○ 体育編（1）

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	イラスト・写真等の示し方, キャラクターやマークの活用

	イラスト・写真等の示し方	キャラクターやマークの活用
東書	○ 「やってみよう」の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えている。 ○ マークが示す内容 ・「キーワード」：キーワードとなる用語を示している。 ・「ポイント」：資料を読み取るためのポイントを示している。 ・「リンク」：関連する学習内容を示している。 ・「他教科」：関連する他教科の学習内容を示している。 ・「クイズ」：学習内容に関連したクイズを示している。 ・「発展」：関連した発展的な内容の資料を示している。 ・「読み物」：学習内容に関連した読み物資料を示している。
大日本	○ 「考えよう」の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 ・「Q」：単元の流れや本時の学習課題を示している。 ・「トピックス」：学習内容と関連する話題や読み物を示している。 ・「リンク」：関連した学習内容のページを示している。 ・「ミニ知識」：学習に関連した情報を紹介している。 ・「学習を活かして」：自分の生活に活かすための活動を示している。 ・「学習のまとめ」：重要な言葉と学習の要点をまとめている。 ・「発展」：関連した発展的な内容を示している。
大修館	○ 本文の各まとまりで、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ キャラクターが各マークの内容を示している。 ○ マークが示す内容 ・「やってみよう！」：各項目に設けられた課題を示している。 ・「活用」：学んだ知識を活用する内容を示している。 ・「実習」：実習の内容を示している。 ・「発展」：関連した発展的な内容を示している。 ・「URL」：関連したインターネットのページを示している。
学研	○ 本文の中で、学習内容に関連させながら写真やイラストを掲載している。	○ キャラクターが考える、話し合う、チェックするなどの活動内容を示している。 ○ マークが示す内容 ・「メモ」：詳しい説明や関連する情報を示している。 ・「実習」：実習の内容を示している。 ・「調べる」：探究へのガイドを示している。 ・「インターネットの活用」：関連したインターネットのページを示している。 ・「探究」：研究課題例を示している。 ・「学習の確認」：用語の確認や知識の活用を示している。 ・「発展」：関連した発展的な内容を示している。

観点	(エ) 言語活動の充実
視点	⑩自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫
方法	知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫と具体例

	活動の工夫	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」で, 言語活動に係る学習活動について記載している。 ○ 事例などを用いたディスカッションやブレインストーミング, ロールプレイング等の学習方法の解説を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・書き出してみよう。 ・話し合ってみよう。 ・理由もあわせて発表しよう。 ○ 「保健体育の学習方法」 <ul style="list-style-type: none"> ・事例などを用いたディスカッション ・ブレインストーミング ・課題学習 ・ロールプレイング
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習を活かして」で, 言語活動に係る学習活動について記載されている。 ○ 事例などを用いたロールプレイング等は, 1時間の学習内容の中で資料や学習シートを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習を活かして」 <ul style="list-style-type: none"> ・理由を書いてみよう。 ・友達の考えも聞いてみよう。 ・話し合ってみよう。 ○ ロールプレイング「危険な行動をさける力」 <ul style="list-style-type: none"> ・どうしたら自分の気持ちをはっきりと伝えられるでしょう。断るセリフをつくってみよう。
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう！」で, 言語活動に係る学習活動について記載されている。 ○ 「活用」で, 教科書に自分の意見等を書き込み思考・判断させるスペースを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう！」 <ul style="list-style-type: none"> ・書きだしてみよう。 ・違いを話しあってみよう。 ・ほかの人の経験を聞いてみよう。 ○ 「活用」 <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の危険を予測してみよう ・医師に何をどう伝え, たずねればよいか考えてみよう
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターが, 言語活動に係る学習活動について提示している。 ○ 「実習」や「探究」で, 資料を読み解く課題やコミュニケーションを育てる実習などが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクター <ul style="list-style-type: none"> ・話し合ってみよう。 ・例を挙げて説明してみよう。 ・ノートに書いておきましょう。 ○ 「実習」, 「探究」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを上手に伝える ・コミュニケーションの仕方を考えよう。